２０１７年６月３０日発行　　発行責任者　石川県学校生協理事長　細野　祐治

津幡の空から

石川県学校生活協同組合
2017・7月号

石川県学校生協黒字化計画の2年目
今年は第69回、来年度は第70回！

理事長　細野祐治

６月 12 日に、石川県学校生活協同組合第６９回通常総代会を開催しました。私たちの学校生協は 1949 年に創設されています。そして、その供給高（一般には売上高）の変遷を見てみますと、創設から 1996 年度までの 47 年間は常に右肩上がりの増加を続けました。しかし、その 1996 年度の供給高 21 億 300 万円を境に、昨年の 2016 年度 8 億 3982 万円まで、一度も回復することのない減少を続けてきています。これにはいろいろな要因があると思いますが、簡単に言えば、組合員が学校生協から商品を買わなくなったのです。事実一人当たりの平均購入額は、1996 年度は 138,638 円ありましたが、2016 年度は 56,345 円です。何と 8 万円も減少しています。しかし、総代のみなさんのアンケートにも見られるように、「学校生協は必要だ」という認識は変わっていません。そこに、これからの学校生協が伸びてゆく可能性があると私は思います。来年度は、記念すべき第 70 回の総代会です。黒字化にメドがつくような状況を、みなさんに示したいと思います。ご協力をお願いします。

2017年度5月 717万円の赤字でした。 計画より 19 万円悪化。
（学校生協の商品をあと1,000円多く買ってくださいキャンペーン継続中）

石川県学校生協の 2017 年度 5 月末現在の経常剰余金は▲717 万円です。計画目標は▲698 万円ですから▲19 万円悪化しています。2016 年度 5 月は▲644 万円でしたから、それよりも▲73 万円の悪化です。2017 年度の年間計画では▲880 万円です。せめてこの目標は達成したいのですが、心配になります。

さて、6 月はどういう結果になるでしょうか。夏の全員利用運動の結果も気になります。みなさん！何かを買いたいと思った時には、必ず学校生協で買えないかを思い浮かべてください。十分間に合うものがあります。

ご購入、よろしくお願い致します。あなたの学生協です。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

―学校生協と私―

学校生協　編沢　由香

私がフレッシュ共同購入を担当して一〇年が経ちます。私の仕事は、フレッシュ会員登録や学校の異動の為の班変更、また、組合員の皆さまから寄せられた「声」に応える大事な仕事です。

コープ商品とは、生協オリジナル商品のことで組合員の声と参加により作られています。もちろん原材料が明らかで、添加物をできるだけ減らし、よりよい品質であることが条件です。「生協ファン」と言ってくださる組合員の方からは、沢山のご意見や質問を頂きいろんな事を勉強させていただいています。「生協商品が少しでも良くなれば」と利用者の立場で、野菜については美味しくなかった、腐りがみられたとか、雑貨などは、使いづらい、すぐ壊れたなど、温かい改善のご要望を頂いています。また、良かった商品にもご意見いただき有りがたく思っています。

私の子ども二人も社会人となり、子育ては卒業。スーパーでの買い物でも見知らぬ方とも平気で話せる年齢？となりました。知らずにいろんな知識も得られ、人との交流、すなわち組合員さんとの交流がよりよい商品につながると信じています。組合員さんの喜ぶ顔を想像しながら今日も頑張ろうと机に向かいます。

編集後記　　野菜だより

５月に定植したナスやキュウリ・ズッキーニ・トマト・ピーマンなどは順調にもう実がなりはじめていますか？そこで、まだ空き地がある人のために、ワンポイントアドバイス！まだ、ナスの苗が店によっては売られています。その接木苗を買って定植することをおすすめします。なぜそうするかと言えば、７月末にナスの場合は、９月にもう一度実をつけさせるために、更新選定（伸びた枝を 30cm くらいまで切り取る）という作業をおこないます。そうすると、実がならない期間ができます。その時に収穫するためです。そして、両方が 10 月まで収穫することができます・・・・。（ほその）